

# 平成26年度 燕市西蒲原郡総合部 活動報告

部長 澁木保之

## 1 研究主題

「人、もの、自然と関わり、学びを深める  
総合の授業づくりはどうあるべきか」



## 2 研究の概要

### (1) 講演会 (第1回部会)

① 日時・会場 6月4日(水) 15:15～16:45  
燕西小学校

② 講師 新潟大学教育学部附属新潟小学校  
指導教諭 金 洋輔 様

③ 演題 「人、もの、自然と関わり、学びを深める総合の授業づくり」

④ 内容

学習指導要領において総合的な学習は、「横断的・総合的な学習」であることに加え、「探求的な学習」や「協同的な学習」が重要であるということを紹介していただいた。その上で、「総合で学んだことを子どもの生き方につなげる」ための単元・授業づくりのポイントとして、次の3点を、実践例を通して講義していただいた。

ア 学習対象と学習事項を設定すること

イ 単元に三つの体験活動を位置づけること

ウ 三つの体験活動が主体的に行われるように適切に働きかけること

### (2) 授業研究 (第2回部会)

① 日時・会場 12月3日(水) 14:00～16:45

小池小学校

② 授業者 小池小学校 吉田 俊也 教諭

③ 指導者 県立教育センター 指導主事 須貝 学 様

④ 内容

ア 授業の概要

「環境にやさしく～小池小学校クリーン作戦～(4年)」

社会科の学習からごみ問題について学び、総合の学習では、自分たちにできることとして小学校のクリーン作戦を行った。本時は、この一次活動を振り返り、実践方法を修正した二次活動へつなげる話し合いが中心となった。

イ 協議とご指導の概要

KJ法を使った話し合いは、子どもたちから考えが出やすく、相違点や共通点がはっきりとして整理や分類がしやすく有効であった。ただ、一次活動から二次活動へ考えをより深めるためには、一次活動での問題点が子どもにとって意味のある追求課題となる必要があった。そのために、教師がどのように揺さぶりをかけるかが重要となる。

子どもたちが自分の考えを深めるとは、どのような考えが、どのような状態になることなのか、具体的にイメージできるか。研究テーマを実現する教材(もの)と出会い(人)をどのように子どもたちと関わらせていくのか。授業づくりで具体的に検討して、子どもたちを求める姿に近づけてほしい。



## 3 成果と課題

子どもたちに価値ある課題を追求させ、総合の学習に意欲を持たせたいと、総合部では考え研修を始めた。吉田教諭の実践と金先生、須貝先生のご指導から、付けたい「学びの姿」を明確にし、そのためにどのように働きかけるかの手立てを考える重要性について、会員が研修を深めることができた。次年度も、子どもたちが進んで課題追求に取り組むための手立てについて研究授業を通して研修を行いたい。